

(町並み版)

※ (町並み版) とは...

プロフィールを作成した27箇所の歴史的資産周辺の景観特性をよりきめ細やかに把握するため、周辺を景観特性ごとにエリア区分し、そのエリアごとに、町並みの特徴や景観形成の方針、建築計画等に求める配慮事項などをまとめたものです。

1 鹿苑寺（金閣寺）からの眺望景観

【周辺の特徴】

- ・ 金閣寺境内は高低差があり、変化に富んだ敷地だが、植栽が上手く配置され、良好な景観が保たれている。
- ・ 衣笠山が借景となり、良好な眺望景観が形成されている。



1-1 参拝門から東への眺望
：門と植栽以外は見えない。



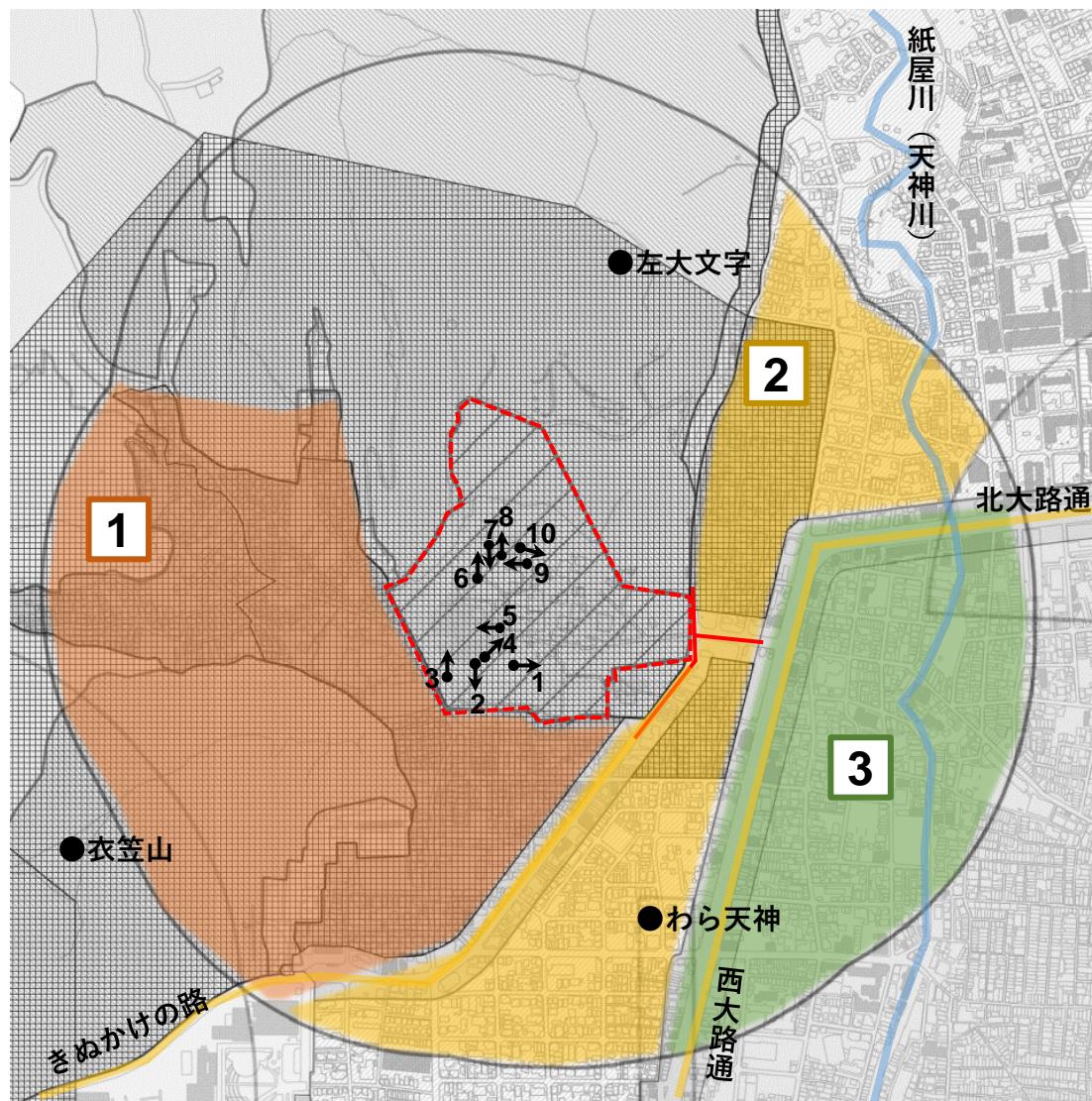
1-2 鏡湖池から南への眺望
：植栽以外は見えない。



1-3 紅葉山から北鏡湖池への眺望
：背景の山々と池と植栽とが変化に富んだ景観を形成している。



1-4 鏡湖池から北東方丈への眺望
：背景の山々と植栽の中にたえず北東方丈以外見えない。



1-5 方丈から西への眺望
：背景の山々と植栽以外は見えない。



1-6 金閣垣より北への眺望
：植栽の茂みが続いている。



1-7 安民沢を背に南への眺望
：周囲の建築物等は見えない。



1-8 安民沢越に北への眺望
：深い木立が続く。



1-9 夕佳亭から西への眺望
：深く続く木立と池がつくる変化に富んだ景観。



1-10 安民沢から東方面出口への眺望
：市街地が木立の間から遠くに見える。

2 鹿苑寺（金閣寺）周辺の景観

【周辺の特徴】

- ・落ち着いた勾配屋根の家並みが多く、近隣の神社の豊かな植栽や衣笠山の借景とあいまって良好な景観が保全されている。
- ・北大路通、西大路通は幅員の広い幹線道路であり、左大文字山が眺め、わら天神や衣笠カトリック教会など地域のランドマーク的な建築物も見られる。



2-1 北大路通の北側の住宅地
：敷地の大きな閑静な住宅地が立ち並ぶ。



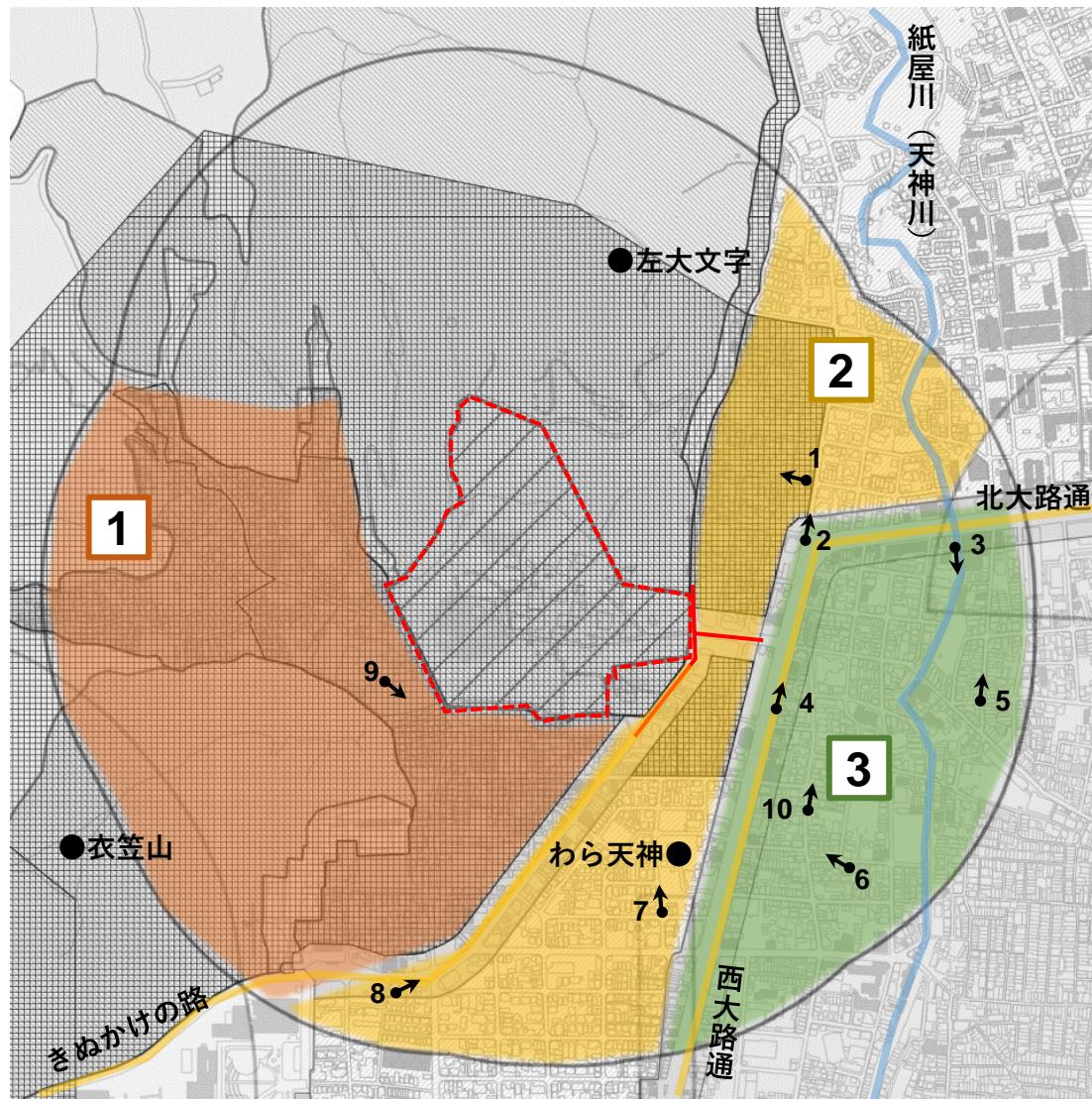
2-2 北大路通と西大路通角から北への眺望
：住宅地の背後に左大文字がよく見える。



2-3 紙屋川沿いの眺望
：高低差のある地形。



2-4 西大路通から北への眺望
：中低層の建築物が立ち並ぶ。



--- 視点場（境内） — 視点場（参道等） — 主な通り



2-5 鞍馬口通から北への眺望
：住宅地が広がり、高低差のある地形で坂道が多い。



2-6 西大路通より一筋東側から北への眺望
：金閣寺北側の山がよく見える。



2-7 わら天神西側の道から北への眺望
：わら天神の緑と和風住宅の生垣が一体となっている。



2-8 きぬかけの道から北東への眺望
：沿道には和風住宅等が立ち並ぶ。

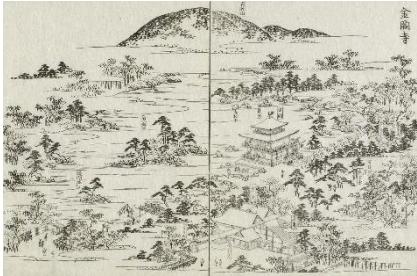


2-9 金閣寺敷地南側からの眺望
：金閣寺の豊かな緑が続き、落ち着いた景観を形成している。



2-10 金閣寺への旧参道から北への眺望
：豊かな緑を備えた低層の和風住宅等が立ち並ぶ。

3 鹿苑寺（金閣寺）周辺の歴史的景観の特徴と建築計画への配慮事項

1 金閣寺南西側		参考写真等				
ア エリアの歴史等	<ul style="list-style-type: none"> ・衣笠氷室町の町名に残るように『延喜式』にも記された山城国愛宕郡 石前氷室（いわさきひむろ）があったとされる。金閣寺西、宇田川西岸には「氷室池」と呼ばれる池があった。（図3-1）衣笠山は「真如寺の後より鹿園の南に続く丘なり、主山は西方絹笠山なり」（山州名跡志）とあり、古来和歌に詠ぜられ、一帯は風光明媚な土地として愛された。 ・鎌倉時代初期には西園寺公経の西園寺山荘、その後、応永4年（1397）に足利義満の北山殿の造営が始まり、その広大な敷地の一部であった。 ・昭和中期までは水田であったところが徐々に宅地化が進んだ。 	 <p>3-1 「都名所図会」 安永九（1780）年</p>				
イ 町並みの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた佇まいの住宅が立ち並ぶ。北側は山手に向かい坂道が続くが緑豊かで勾配や小川があり、変化に富んだ地形である。金閣寺の塀・石垣沿いには樹木が豊かに茂り、背景の山々と一体となり良好な景観を形成している。 ・北西側には旧家、土蔵や和風住宅等があり、歴史を感じさせる趣のある景観を形成している。 ・南西側きぬかけの道沿いは植栽も多く、落ち着いた和風建築物が点在している。変化に富んだ遊歩道は洛北の自然や風情を楽しめる。 <p>文化財等： 西川家住宅</p>	 <p>3-2 落ち着いた佇まいの家並み</p>				
ウ 景観形成方針	<table border="1"> <tr> <th>風致地区</th> <th>金閣寺周辺特別修景地域</th> </tr> <tr> <td>金閣寺及び等持院の一帯は、松林に覆われた美しい山容を持つ衣笠山の麓に広がる市街地であり、この地区の山ろく部は金閣寺の借景となっている。</td> <td>世界遺産の金閣寺周辺では、金閣寺の緑と一体となった景観を保全する。</td> </tr> </table>	風致地区	金閣寺周辺特別修景地域	金閣寺及び等持院の一帯は、松林に覆われた美しい山容を持つ衣笠山の麓に広がる市街地であり、この地区の山ろく部は金閣寺の借景となっている。	世界遺産の金閣寺周辺では、金閣寺の緑と一体となった景観を保全する。	 <p>3-3 穏やかな勾配のある道が山へと続く</p>
風致地区	金閣寺周辺特別修景地域					
金閣寺及び等持院の一帯は、松林に覆われた美しい山容を持つ衣笠山の麓に広がる市街地であり、この地区の山ろく部は金閣寺の借景となっている。	世界遺産の金閣寺周辺では、金閣寺の緑と一体となった景観を保全する。					
エ 求める配慮事項	<p>社寺境内地や立命館大学を含め、大規模施設の外構デザインにより風致・景観の保全を図る。赤坂地区では、日本瓦ぶきの住宅で大半の和風空間が形成されている。この落ち着いた佇まいのある和風空間の保全を図る。</p> <p>敷地規模に留意し、建築物は日本瓦ぶき和風外観とする。</p>	 <p>3-4 きぬかけの路の町並み</p>				

2 金閣寺東側		参考写真等						
ア エリアの歴史等	<ul style="list-style-type: none"> ・足利義満が造営した北山殿の広大な敷地の一部で、近世まで金閣寺の寺領であった。 ・平野神社から金閣寺に向かう道沿いに小北山村の集落が発展し、その北方に大北山村の産土神である敷地神社（わら天神）が鎮座する。 ・衣笠野菜出荷組合が大正7年設立に設立され米作地から野菜畑に転用が急速に進んだ。 ・昭和6年に金閣寺土地区画整理組合が発足し、区画が整備され徐々に宅地化が進んだ。 ・昭和10年までに区画整理に伴い西大路通が完成し、同年京都市電もわら天神前まで延伸開業した。 	 <p>3-5 「京都市實地測量地圖」 明治42年（1909）</p>						
イ 町並みの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・中低層の建築物が多く、大半が勾配屋根の家並みが続く。高低差がある地形であり、南側はどこからも金閣寺の森、背後の山並みが良く見える。 ・金閣寺道より北側は比較的大きな敷地割の閑静な住宅が多く、植栽の多い落ち着いた町並みが形成されている。金閣寺の緑がどこからもよく見える。 ・金閣寺道より南側は道路幅員が広く、整然とした区画に住宅が立ち並ぶ。 ・西大路通と北大路通の角にあるカトリック衣笠教会は地域のランドマークとなっている。 	 <p>3-6 金閣寺北側の家並み</p>						
ウ 景観形成方針	<table border="1"> <tr> <th>風致地区</th> <th>金閣寺周辺特別修景地域</th> <th>山ろく型建造物修景地区</th> </tr> <tr> <td>金閣寺及び等持院の一帯は、松林に覆われた美しい山容を持つ衣笠山の麓に広がる市街地であり、この地区の山ろく部は金閣寺の借景となっている。</td> <td>世界遺産の金閣寺周辺では、金閣寺の緑と一体となった景観を保全する。</td> <td>北山の山ろく部には、多くの歴史的資産があり、その周辺は山ろくの自然景観に調和する良好な景観を形成する地域である。</td> </tr> </table>	風致地区	金閣寺周辺特別修景地域	山ろく型建造物修景地区	金閣寺及び等持院の一帯は、松林に覆われた美しい山容を持つ衣笠山の麓に広がる市街地であり、この地区の山ろく部は金閣寺の借景となっている。	世界遺産の金閣寺周辺では、金閣寺の緑と一体となった景観を保全する。	北山の山ろく部には、多くの歴史的資産があり、その周辺は山ろくの自然景観に調和する良好な景観を形成する地域である。	 <p>3-7 西大路通りと北大路通りの角に建つカトリック衣笠教会。</p>
風致地区	金閣寺周辺特別修景地域	山ろく型建造物修景地区						
金閣寺及び等持院の一帯は、松林に覆われた美しい山容を持つ衣笠山の麓に広がる市街地であり、この地区の山ろく部は金閣寺の借景となっている。	世界遺産の金閣寺周辺では、金閣寺の緑と一体となった景観を保全する。	北山の山ろく部には、多くの歴史的資産があり、その周辺は山ろくの自然景観に調和する良好な景観を形成する地域である。						
エ 求める配慮事項	<p>社寺境内地や立命館大学を含め、大規模施設の外構デザインにより風致・景観の保全を図る。</p> <p>敷地規模に留意し、建築物は日本瓦ぶき和風外観とする。</p> <p>建築物は、歴史的資産等の周辺において、勾配屋根を設け、壁面の色彩を暖色系の自然素材色とするなど、和風基調の町並み景観を形成する。</p>							

4 鹿苑寺（金閣寺）周辺の歴史的景観の特徴と建築計画への配慮事項

3 西大路以東		参考写真等		
ア エリアの歴史等	<ul style="list-style-type: none"> ・大北山村は鹿苑寺の一円所領ではないが村高の約4分の3を鹿苑寺領が占め、門前集落として夫役は鹿苑寺の分を負担していた。集落は南への参道沿いに両側町の形態を形成し（現在の衣笠街道、衣笠北高橋町）、町定に従い上下京の町中とよく似た町運営がされていた。 ・江戸初期の洛中洛外図には寺之内町通を西へ北野天満宮の北側を通って御土居、紙屋川（現在は鷹峯千束町以南を天神川）を渡って洛外の金閣寺に至る様子と北山郷と一括されていた北山村が描かれている。 ・西大路通、北大路通の開通に伴って旧市内と一体化し、新市街区の周縁部を形成してきた。 			 <p>3-8 「京図名所鑑」安永7年（1778） エリアー帯は畑であった。</p>
イ 町並みの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・北大路通に続く西大路通の東側の高低差のある丘陵地帯である。幹線道路沿いには店舗、事業所ビル、大学などがある。一筋入ると古民家が残り、住宅が整然と並んでいる。花山天皇御陵を住宅が周囲をとり囲むように建つ。 ・小規模ながら公園がいくつか点在し、ゆったりとした居住環境となっている。 ・紙屋川にかけては坂道が多い谷のような地形となり、傾斜を利用したマンション等が建つ。 			 <p>3-9 幅員の広い北大路通</p>
ウ 景観形成方針	沿道型美観形成地区(衣掛けの道)	沿道型美観形成地区(幹線)	旧市街地型美観形成地区	 <p>3-10 所々に残る古い民家</p>
エ 求める配慮事項	沿道に面した建築物は、京都らしい繊細で洗練された勾配屋根を基本とする和風意匠により通り景観の保全に配慮する。通りの眺めを阻害するような色彩を禁止するとともに、屋上景観の整備に努める。	建築物は外壁の位置を道路から後退するなど、良好な眺望や通りの景観の形成を図る。また社寺周辺では、土塀や樹木等と調和のとれた形態意匠とする。	建築物は勾配屋根を設け、道路に面して空地を設ける場合は、門や塀、生垣等を設置すること等により、京町家や社寺との連続性に配慮し、町並み景観の保全、創出を図る。	 <p>3-11 紙屋川沿いの傾斜地に立つ住宅やマンション</p>

- 3-1 「都名所図会」国際日本文化研究センター (<http://www.nichibun.ac.jp>)
- 3-5 「京都市實地測量地圖」国際日本文化研究センター (<http://www.nichibun.ac.jp>)
- 3-8 「京図名所鑑」国立国会図書館デジタルコレクション (<https://dl.ndl.go.jp/>)